

訪問教育の制度について



え！入院？！
院内学級がない！
勉強は？
学校は？
どうなるの～？

*小・中学生なら病院の許可があれば
教員側が病院へ訪問して授業をし
ます。

*週3回、1回2時間ほどの授業をお
こないます。

*訪問教育を受けている間だけ羽曳野
支援学校に転校になります。
快復すればもとの学校・学級に戻り
地域の学校と連携しながらとりく
みます。

*診療科は、
問いません。



羽曳野支援学校ではいつでも
教育相談をおこなっています。
お子さんの教育のこと、病気の
こと、生活のことなど どうぞ
お気軽にご相談ください。

本校（大阪はびきの医療センター）

（羽曳野市） 072-958-5000

大阪労災病院分教室

（堺市） 072-252-8088

近畿大学病院分教室

（堺市） 072-298-2211

堺咲花病院分教室

（堺市） 072-299-5463

大阪母子医療センター分教室

（和泉市） 0725-56-9085

阪南病院分教室

（堺市） 072-277-2888

入院中のお子さんの教育を希望される場合は
主治医や看護師長さんにご相談のうえ、
上記の連絡先にお電話ください。

ごぞんじですか？

治療中のお子さまの 教育について Q&A集

大阪府立羽曳野支援学校

〒583-0872 羽曳野市はびきの3-7-1

Tel: 072-958-5000

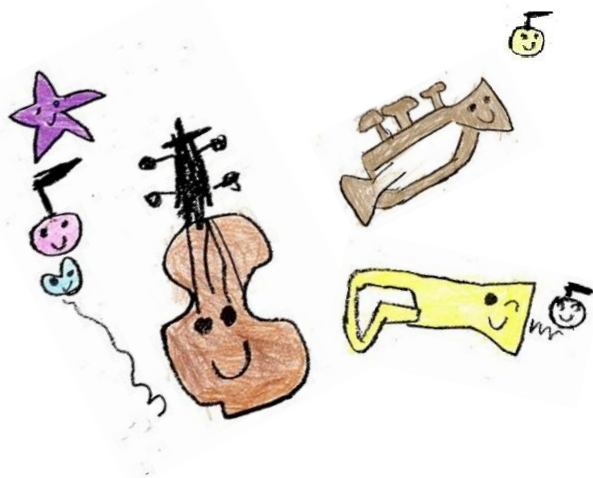
Fax: 072-958-7890



病気の子どものための教育制度って

Q1. どんな制度？

A1. 病気の小・中学生のお子さんが入院しながら学べます。公立の小・中学校と同じで授業料は無料です。



Q2. 学ぶ場所は？

A2. 一般には病弱支援学校、病院内分教室、病院内学級、訪問教育などの場があります。羽曳野支援学校は大阪府南部の病院を担当しています。



Q3. 入院中でも勉強が必要ですか？

A3. 病気のお子さんの教育には、治療上の効果・心の安定・学力の保障などの意義があります。羽曳野支援学校では退院後のスムーズな復学をめざしています。

病気のお子さんの教育

について

Q&A 集

授業料は無料です



Q4. 小児科だけですか？

A4. 小児科以外にも、内科・皮膚科・整形外科・心療内科など、さまざまな病気のお子さんがおられます。みんな治療しながらがんばっています。



いま通っている小中学校はどうなるの？

Q5. 地域の学校と支援学校と2つの学校の生徒になるのですか？

A5. いいえ。
支援学校で学ぶ期間だけ小・中学校から学籍を移しますが退院すればもとの学校へ戻ります。

Q6. 地域の小・中学校との連携は？

A6. 学習や行事参加について学校間で連絡をとりあってすすめます。もとの学校に戻る前には試験登校や 医師を含めた連絡会を持つこともできます。

羽曳野支援学校では、いままで通っていた小・中学校と同様の内容の学習を進めています。 体育大会・学習発表会・修学旅行などの行事もあります。

